ファームウェアV1.30の新機能

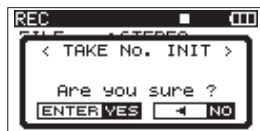
ファームウェアV1.30より、次の機能が追加されました。

- テイク名のファイル番号のを初期化機能の追加（TAKE No. INIT）
- イレースフォーマット機能の追加
- 内蔵スピーカーの出力設定機能の追加
- マルチトラック素材の再生対応の追加

テイク名のファイル番号の初期化機能の追加（TAKE No. INIT）

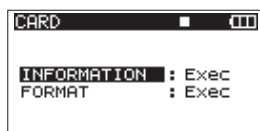
テイク名のファイル番号を初期化する機能を追加しました。
ファイル番号初期化を実行すると、以降録音されるテイク番号に000からの重複しない番号を付加します。

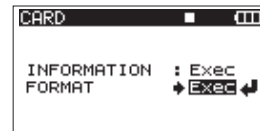
1. トップパネルのMENUキーを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. トップパネルのDATAホイールを使って **"REC"** メニュー項目を選択（反転表示）し、トップパネルのENTERキーを押します。
"REC" 画面が表示されます。
3. トップパネルのDATAホイールを使って、**"TAKE NO. INIT"** 項目を選択（反転表示）します。

4. トップパネルのENTERキーを押すと、確認のポップアップメッセージを表示します。

5. 再度ENTERキーを押すと、設定された文字に続く数字が **"0000"** から始まります。
トップパネルの ◁ キーを押すと、**"REC"** 画面の項目選択状態に戻ります。
6. フロントパネルのHOME/FUNCキーを押すと、ホーム画面に戻ります。

イレースフォーマット機能の追加

SDカードのフォーマット機能に、従来のフォーマット方法に加えて「イレースフォーマット」を追加しました。

1. トップパネルのMENUキーを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. トップパネルのDATAホイールを使って **"CARD"** メニュー項目を選択（反転表示）し、トップパネルのENTERキーを押します。
"CARD" メニュー画面が表示されます。

3. DATAホイールを使って **"FORMAT"** 項目を選択（反転表示）し、トップパネルの ▷ キーまたはENTERキーを押します。
以下の画面を表示します。

4. ENTERキーを押すと、以下の画面を表示します。

5. 再度ENTERキーを押して、以下の画面を表示します。

6. DATAホイールを使って、以下の中から設定します。
選択肢：**"QUICK FORMAT"**（初期値）、
"ERASE FORMAT"

メモ

"ERASE FORMAT" を実行すると、繰り返し使用で書き込み性能が劣化したSDカードを復活させる可能性があります。

7. ENTERキーを押すと、確認メッセージがポップアップ表示されます。

［ **"QUICK FORMAT"** 選択時］

［ **"ERASE FORMAT"** 選択時］

8. 再度ENTERキーを押すと、フォーマットを実行します。

メモ

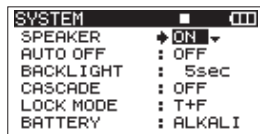
"ERASE FORMAT" を実行中にトップパネルの ◁ キーを押すと、中断（CANCEL）できます。その場合は、**"QUICK FORMAT"** と同じになります。

9. フォーマットが完了すると、**"CARD"** メニュー画面に戻ります。

D01262001A

内蔵スピーカーの出力設定機能の追加

内蔵スピーカーの出力設定機能を追加しました。
工場出荷時、本機の内蔵スピーカーの出力設定はオンに設定されています。内蔵スピーカーの出力をオフにするには、**"SYSTEM"** メニュー画面の **"SPEAKER"** 項目をオフにしてください。

1. トップパネルのMENUキーを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. トップパネルのDATAホイールを使って **"SYSTEM"** メニュー項目を選択（反転表示）し、トップパネルのENTERキーを押します。
   "SYSTEM" メニュー画面が表示されます。
3. トップパネルのDATAホイールを使って、**"SPEAKER"** 項目を選択（反転表示）します。

4. DATAホイールを使って、以下の中から設定します。
   選択肢：“OFF”、**“ON”**（初期値）
5. トップパネルの ◁ キーを押すと、メニュー画面の項目選択状態に戻ります。
6. フロントパネルのHOME/FUNCキーを押すと、ホーム画面に戻ります。

メモ

- ヘッドホンを接続すると、**"SPEAKER"** 設定が **"ON"** に設定されていても、内蔵スピーカーから音は出力されません。
- 音を出す前は、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

マルチトラック素材の再生対応の追加

従来のリビルド機能は、1つのファイルを1つのテイクにする機能でしたが複数のファイルを1つのテイクにすることが出来るようになりました。
これにより、DAWなどで作成したマルチトラック素材の再生が可能です。
操作手順は、従来どおりです。（取扱説明書の43ページ「フォルダ操作」）
複数のファイルを1つのテイクにするには、以下のルールを守ったうえで1つのフォルダーにファイルを置いてください。

●ファイル名ルール（WAV/BWFの例）

モノラルファイルの場合

XXXX_monoY.wav
① ② ③

ステレオファイルの場合

XXXX_stY.wav
① ②③

①：テイク名部分（半角英数字10文字以内）
②：ファイルタイプ名（monoまたはst）
③：トラック番号（モノラルの場合は1から6までの数、ステレオの場合は12,34,56のいずれか）